

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼間部)		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	関連職種提携論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 水曜3限	教室名	4校舎401
担 当 教 員	酒井 崇	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
言語聴覚士の働く機関は多様であり、他職種との関わりも多い。「チーム医療」の重要性を知り、医療チームの一員として言語聴覚士の果たす役割や責任を考える。チーム連携を行う医療・福祉の専門職について、その役割や仕事内容も理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト(筆記試験)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準言語聴覚障害学「言語聴覚障害学概論」 適宜プリント配布						
《授業外における学習方法》						
現場で関わることのある他職種の仕事に触れる貴重な機会です。 学習した内容を復習し、学生同士で意見交換してください。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床現場では「チーム医療」がとて重要になってきます。多様な職種の話を聞くチャンスです。チーム医療の中で言語聴覚士としてどのように関わっていくのかを考えていきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語聴覚士の仕事を説明できる。	PC・スライド、教材、配布資料	医療現場における他職種について興味を持っておくこと	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 言語聴覚士の仕事、連携する職種について学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	理学療法士の仕事を説明できる。	PC・スライド、教材、配布資料	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	理学療法士の仕事内容と言語聴覚士との連携について学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	作業療法士の仕事を説明できる。	PC・スライド、教材、配布資料	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	作業療法士の仕事内容と言語聴覚士との連携について学ぶ。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護師の仕事を説明できる。	PC・スライド、教材、配布資料	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	看護師、訪問看護師の仕事内容と言語聴覚士との連携について学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	管理栄養士の仕事を説明できる。	PC・スライド、教材、配布資料	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	管理栄養士の仕事内容と言語聴覚士の連携について学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護士の仕事を説明できる。	PC・スライド、教材、配布資料	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	介護士の仕事内容と言語聴覚士との連携について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	カンファレンスについて説明できる。	PC・スライド、教材、配布資料	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	カンファレンスについて学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療について説明できる。	PC・スライド、教材、配布資料	事前学習として該当頁を通読しておくこと
		各コマにおける授業予定	チーム医療について学ぶ。		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			